

株式会社熟豊ファーム SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2023年7月6日

株式会社熟豊ファーム
代表取締役 石飛 修平

◆経営方針

環境問題、動物福祉等社会問題に取り組み持続可能な社会へ貢献する。

◆目指す姿

動物福祉に配慮し、母牛を再肥育しテーブルミートへと昇華させるという持続可能(サステナブル)な取り組みを通して日本の畜産業の品質向上、発展を目指す。

SDGsの達成に向けた取り組み

地産地消の推進

○地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外消を推進する。

<具体的な取り組み>

耕畜連携による地域資源の活用／食品残渣の活用(飼料作りへの活用)／地元産の材料での飼料作成／家畜排せつ物の堆肥利用

— 関連ゴール —



環境問題への配慮

○温室効果ガスの排出を抑制し、地球環境の保全を図る。
○動物福祉、家畜福祉を第一に置いた畜産肥育を行う。

<具体的な取り組み>

メタンガス発生抑制(飼料にアマニ油等利用)／工程改善等ロス削減による省エネ推進／J-クレジットの取組／抗生物質フリーでの肥育／ストレスフリーの牛舎造り・運営

— 関連ゴール —



処遇格差、労働時間の是正

○従来の業界体質改善を社員全員の共通課題と認識し、適切な労働時間管理を推進する。

<具体的な取り組み>

方針・社内規程の見直し(サービス残業の禁止、残業代の適切な支払、法定年次有給休暇の確実な取得)／超過労働時間の削減／週休2日制導入／業界未経験者の積極採用

— 関連ゴール —



ESG/SDGsの取組みの表明

○会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献する。

<具体的な取り組み>

SDGsを取り入れた経営方針・経営計画の表明／SDGs推進施策・目標の設定、モニタリングの実施／SDGsの取組みのホームページでの情報開示

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

